

平成21年度

橋梁技術発表会及び講演会

- 次世代に贈る鋼橋のために -

参加費無料
定員250名
申込先着順

会場 **NTT夢天神ホール**

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-5-35
岩田屋本店本館7F
Tel.092-781-8888

平成21年

日時

11

12

木

13:00~16:45

13:00~13:10

開会の辞

社団法人日本橋梁建設協会
副会長・専務理事 中島 威夫

13:10~13:25

橋建協の講習会・講演会活動報告

企画委員会広報小委員会

第1部：技術発表会

13:25~14:05

1. 鋼橋の制震技術の最前線

- 鋼橋に用いられる制震デバイスとその効果 -

技術委員会設計小委員会

14:05~14:45

2. 鋼橋の維持管理に配慮した

設計・施工の留意点

- 過去の補修・補強事例からのフィードバック -

保全委員会保全技術小委員

14:45~15:25

3. ストーンカッターズ橋工事報告

- 世界最大級の複合構造斜張橋の製作・架設について -

企画委員会国際小委員会

15:25~15:40

休憩

第2部：特別講演会

15:40~16:40

1. 構造工学研究40年を振り返って

- 鋼部材、鋼橋の座屈・耐荷力を中心に -

熊本大学顧問
熊本県産業政策顧問
くまもとテクノ産業財団名誉顧問
崎元 達郎



16:40~16:45

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会

申込方法

- ① Fax. 092-531-0701 (裏面の用紙に記載)
- ② ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/> の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月下旬から)

申込期限

平成21年10月29日(木)

連絡先

社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所
〒810-0005 福岡市中央区清川1-7-12 大戸ビル
Tel. 092-531-0701

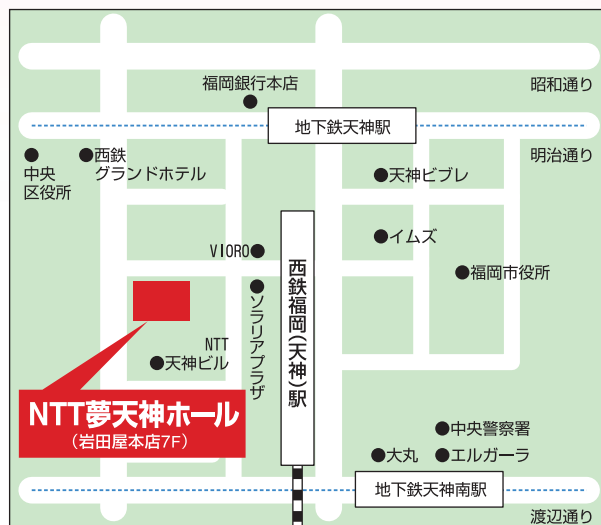
継続教育

CPDS認定予定

- ※東京地区は 10月 9日(金) (特別講演講師:東京工業大学 三木教授)
大阪地区は 10月23日(金) (特別講演講師:大阪工業大学 栗田教授)
東北地区は 11月 6日(金) (特別講演講師:東北学院大学 李准教授)
中部地区は 11月18日(水) (特別講演講師:名古屋大学 伊藤教授)開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認ください。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたはダウンロードするようお願いします。

アクセス



- 福岡市営地下鉄天神駅6番出口から徒歩4分
- 西鉄福岡天神駅より徒歩2分

1 鋼橋の制震技術の最前線

— 鋼橋に用いられる制震デバイスとその効果 —

近年、鋼橋の耐震設計では、制震デバイスを用いる事例が増加しています。従来、新設の場合は使用鋼材板厚の増厚、既設の補強の場合は鋼板の当て板や部材の追加等により耐震設計が行われていました。しかし、部材剛性が増加すると、その部材への地震力が更に増加するため、この方法は鋼材量が増加しコスト増大につながっていました。一方、制震デバイスを用いる方法では、地震力をデバイスが低減することで必要鋼材量を少なく出来るため、コスト低減が可能です。本技術発表会ではこのような制震デバイスの機能とその効果について、最近の動向を紹介いたします。

2 鋼橋の維持管理に配慮した設計・施工の留意点

— 過去の補修・補強事例からのフィードバック —

高度経済成長期に多数の鋼橋が架設されています。これらの維持管理が重要視される一方、設計・施工時に将来の維持管理への知見・配慮が十分でなく、点検や補修・補強工事が難航する事例も多くみられます。本発表では、このような事例を紹介し、設計・施工の留意点を提案します。また、若手技術者向けに、現在では使われていない材料や構造、新設工事では見られない保全工事特有の工法などを紹介します。

3 ストーンカッターズ橋工事報告

— 世界最大級の複合構造斜張橋の製作・架設について —

ストーンカッターズ橋は、香港ランブラー海峡を跨いで青衣島～九龍半島(ストーンカッターズ半島)に架かる橋長1,596m、中央径間1,018mの世界最大級(世界第二位)の斜張橋です。主桁は中央径間と主塔周りが鋼製、側径間がコンクリートの2主箱桁で、2基の主塔はステンレス、鋼、コンクリートのハイブリッド構造が採用されています。

本格的な国際入札案件で、必要な材料・資材は世界各国から調達し、技術者・作業員は香港、日本、イギリスをはじめとする世界各国から集まりました。本報告では、中国本土での鋼桁および主塔鋼・ステンレス部の製作と、香港でのそれらの現地架設について報告します。

特別講演会 講演者紹介

1 構造工学研究40年を振り返って

— 鋼部材、鋼橋の座屈・耐荷力を中心に —

— 略歴 —

1945年 鹿児島県出水市生まれ
1967年 大阪大学工学部構築工学科卒業
1969年 大阪大学大学院工学研究科
構築工学専攻(修士課程)修了
1972年 大阪大学大学院工学研究科
構築工学専攻(博士課程)単位修得退学
1972年 大阪大学助手
1973年 熊本大学講師
1979年 工学博士(大阪大学)
1979年 熊本大学助教授
1979年 アメリカ合衆国オハイオ州立大学
客員助教授(～1981)
1984年 熊本大学教授
2002年 熊本大学工学部長

2002年 熊本大学学長
2009年 熊本大学顧問

研究分野

構造力学

構造工学

耐震工学

研究テーマ

- アーチ橋の座屈・耐荷力
- 鋼製橋脚の終局挙動と耐震性状
- ねじれを受ける鋼構造の終局挙動と耐震設計

崎元 達郎

熊本大学 顧問
熊本県産業政策顧問
くまもとテクノ産業財団名誉顧問

【講演概要】

1967年(昭和42年)に大阪大学を卒業以来、約40年にわたり大学で構造工学の教育・研究に携わった。その間、多くの先輩、同輩、後輩に巡り会い、論議と親交を深めることができたことに深く感謝申し上げたい。40年を振り返りつつ、「座屈とは何か」、「アーチ部材の座屈・耐荷力」、「有限変位弾塑性解析法」、「アーチ実橋の耐震性能設計法に至る研究」、「提案した新形式橋梁に関する研究」の概要を報告します。

FAX番号:092-531-0701

平成21年度

橋梁技術発表会 [九州地区]

参加申込書

所 属	団体名	所属
氏 名	役職	氏名
住 所	〒	
電話番号	FAX番号	
E-mail		

前回参加の有無 有 ・ 無